



平成25年度社会貢献プロジェクト



自然観察・昆虫採集を通じた環境教育 つくバグ2013 地域の生き物に目を向けてみよう！

蔵満司夢, 徳嶋賀彰, 小長谷達郎, 中村篤史, 山口芽衣, 上原拓也 (生命環境科学研究科),
小嶋佑果, 戸祭森彦, 井戸川直人, 矢野更紗, 佐藤深怜, 長澤亮 (生命環境学群)

1. はじめに ～つくバグって?～

地球環境への関心が高まりつつある一方で、子どもたちが身近な自然に触れる機会は減りつつある。そんな現状を打破すべく立ち上がった、生物学系の学問を学ぶ十数名の学生で構成される2009年に発足した団体である。活動内容としては、地域の子どもたちを対象とした年に数回の昆虫採集を中心とする自然観察教室や標本作成教室を行っている。またこの活動が、**子どもたちが身近な自然に目を向けるきっかけとなることを目指している。**



2. 活動報告 2013年度

夜バグ2013 夜の昆虫観察会 ～やさしい夜遊び～



日付 : 2013年7月20日
場所 : つくば市豊里ゆかりの森
参加者 : 8名
内容 : ライトトラップ
樹液に集まる観察



秋バグ2013 大昆虫展 ～日本のおし大集結～



日付 : 2013年11月3-4日
場所 : 筑波大学
来場者 : 2,000名以上
内容 : 昆虫の生体、標本、写真の展示



夜の虫観察会 with 東海村の環境調べ隊



日付 : 2013年8月3日
場所 : 茨城県東海村中丸コミュニティセンター
参加者 : 約40名
内容 : 夜の雑木林探索、
昆虫の生態に関する講演

日本生物教育学会での活動報告



日付 : 2014年1月11-12日
場所 : 筑波大学大学会館
学会名 : 日本生物教育学会第96回大会
発表題目 : 大学生による昆虫を題材とした環境教育

3. 今後の展望

つくバグは2013年度で4年目となった。参加者には活動開始当初からのリピーターも多い。参加者に毎回新たな発見をしてもらうためには、活動内容が重複しないように工夫を凝らす必要がある。2013年度は新しい取り組みとして夜間の昆虫観察会を行ったが、今後も新たなアイデアを取り入れ内容を充実させたい。

4. 謝辞

2013年度につくバグは、つくばアクションプロジェクトの承認企画として行われました。上記の活動にご協力くださいました、つくば市豊里ゆかりの森の皆さま、東海村の環境調べ隊の林京子様にご礼申し上げます。